

開催決定!

平成27年度 弥生フェスティバル連続講演会

松帆銅鐸

奇跡の発見!

弥生文化専門館で聴く 銅鐸研究最前線!

銅鐸。それは弥生時代に生まれ、そして弥生時代のうちに消えた謎の多い青銅器。

その神秘性だけでなく美しさでも、多くの人々を魅了し、その意味や使用方法の変遷、鑄造技術や生産体制など、さまざまな角度から研究が進められてきました。

二〇一五年の夏、淡路島南あわじ市の松帆地区で奇跡的に発見された銅鐸。それは、内部に音を鳴らすための舌(せつ)を持った「聞く銅鐸」の姿をはっきりと見せてくれました。他にも、樹木などに吊り下げるための「ひも」や、入れ子状態の埋納状況などは、



兵庫県南あわじ市松帆地区で見つかった銅鐸(松帆銅鐸)

今後の銅鐸研究を大きく発展させる重要な発見と言えます。

今回の連続講座では、これまでの銅鐸研究の成果と、「松帆銅鐸」という新資料

に四人の専門家が迫ります。

あなたも一緒に、銅鐸研究の新しい扉を開いてみませんか。

写真提供・南あわじ市教育委員会

松帆銅鐸 発見

第1部

3/24(木)

松帆銅鐸と
淡路島
南あわじ市教育委員会
定松 佳重氏

3/23(水)

銅鐸研究における
松帆銅鐸
発見の意義
奈良文化財研究所
難波 洋三氏

第2部

近畿での 銅鐸生産

3/30(水)

唐古・鍵遺跡の
青銅器鑄型と
鑄造された銅鐸
田原本町教育委員会
藤田 三郎氏

3/29(火)

東奈良遺跡の
鑄型から
松帆銅鐸を考える
茨木市教育委員会
正岡 大実氏

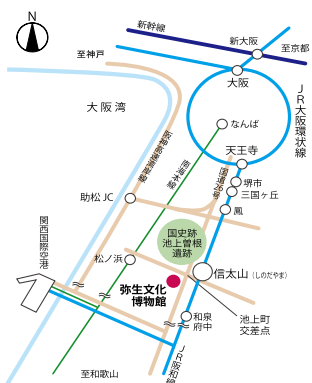
ACCESS

JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、風(かぜ)り駅で普通電車にお乗換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。
風から3駅目が信太山(しのたけ)駅です。

国道26号「池上町」交差点南西角
P普通車72台(無料)

申弥呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
大阪府和泉市池上町4-8-27 TEL.0725-46-2162
http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/



時間 / 各回とも午後2時00分~午後3時30分
(午後1時30分から受付)

定員 / 170名
(当日先着順・開館時より整理券配付)

聴講料 / 無料(要入館料)

開館時間 / 午前9時30分~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料 / 一般300円、高大生・65歳以上200円
※中学生以下は無料、
障がい者手帳をお持ちの方とその介助者は無料
20名様以上の団体は2割引

共通資料集は500円で販売いたします